

鹿児島県立与論高等学校

校長通信

第2号 (令和8年7月17日/校長 山下剛志)



校訓「好学 創造 親和 不屈」

鹿児島県大島郡与論町茶花 1234 番地 1



電話 (0997) 97-2064

FAX (0997) 97-2844



祝 与論高校創立60周年 鹿児島県立与論高等学校 創立60周年記念式典 令和8年11月14日(土)

創立 60 周年記念 第 60 回体育祭

6月14日(日)に予定していた創立60周年記念第60回体育祭は、当日、午前6時段階の天候と天気予報及び、グラウンドのコンディション不良により、6月15日(月)に延期し、屋内多目的運動場にて、プログラムを縮小、変更しての開催となりました。来賓の方々をはじめとして、保護者の皆様、同窓会、地域の皆様の多数のご来場、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

さて、今年の体育祭のテーマは「勝破笑美戦(カップ エビセン)～絆と努力と爆裂 Passion で頂点へ～」でした。「勝破笑美戦」には、「協力して勝利を目指し、全力を出し尽くして笑って終われる美しい戦いをする」という意味が込められているそうです。体育祭のテーマのとおり、3年生を中心に、精一杯、競技や応援演舞に取り組む姿勢に、心を打たれ、与論高校生の素晴らしさを実感しました。



台湾修学旅行(2年生)

6月21日(日)～6月29日(月)の期間2年生が台湾修学旅行に行ってきました。今年で3年目になります。当初の計画は6月26日(金)帰着予定でしたが、台風7号の影響で、帰りの那覇で3泊延泊することになってしまいました。保護者の皆様にはご心配と、費用の負担をおかけすることになってしまいました。全員無事に帰って来られたこと、また、

事後の生徒アンケートで、日程変更により、保護者をはじめ、生徒のためにご尽力いただいた関係者の皆様への感謝を気持ちが表されていた点において、生徒の成長を感じることができました。いろいろ対応していただいた皆様に感謝いたします。また、実際に外国に行ってみて、与論や日本との違いなど肌で感じたことがあると思います。今後の成長につなげてほしいと思います。

Ⅰ 学期を振り返って

4月に赴任して、早いものでもうⅠ学期が終了しました。4月、5月は島外への出張が多く、慌ただしく日々が過ぎていったように思います。5月は地震があり、校舎の一部に影響がありましたが、生徒や先生方への人的被害がなく、避難の対応もスムーズにできました。避難訓練が実際に役立ったと思います。6月は、学校行事や授業等が天候に大きく影響を受けた月でした。体育祭や修学旅行については前述の通りですが、2度の台風接近により3日間の臨時休業措置を取らざるを得ませんでした。

このような中でも、生徒たちは落ち着いた雰囲気の中で学習活動や学校行事に取り組んでいる様子が見え、かえりました。

Ⅰ学期の終業式では、年度当初に私が生徒に訴えた「目標設定とその目的について考える」ということと「ルーツに誇りを持つ」ということについて再度、話をしました。内容は与論のことわざ「思(お)いどう 運命(ぬさ)り 請(ふ)いどう 幸運(うぶ)ん」を紹介し、意味やその教えの内容について確認し、与論の先人の考え方や生き方に触れ、また、与論で親から子や孫へ、地域の大人から子どもたちへ語り継いできた与論の先人たちの素晴らしさ、すごさを伝えたいと思い、このことわざを紹介しました。このことわざと同じ意味が込められている「念ずれば花開く」という言葉は、有名な実業家の稲盛和夫氏や野球界で有名な野村克也氏も座右の銘として大切にされていたそうです。与論の先人たちは誰が言い始めたのかわかりませんが、この与論の地で同じことを生き方として教えていたこと、本当にすごいことです。今後も、機会を捉えて、生徒たちに伝えていきたいと思っています。